



市民病院

八十ちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

乳がん検診をはじめました

現在、乳がんになる人の数は年々増える傾向にあります。月に一度は自己検診、1年に一度はマンモグラフィと超音波検査を受け、乳房のわずかな変化を見逃さないことが大切です。

とき 6月3日(月)～11月29日(金)

※土、日、祝日は除く

ところ 市民病院

対象 昭和55年3月31日以前生まれの人

検診内容 乳房X線写真撮影(マンモグラフィ)、視触診、自己触診法の説明

料金 1,400円



次の人は無料です。

①市発行の無料クーポン券を使用する人

②生活保護、市民税非課税世帯の人

※②は市役所で証明書を受け取り、検診当日提出してください。

③昭和25年3月31日以前生まれの人

申込み 平日13時～17時に市民病院地域連携室 ☎(48)5050

10月の第3日曜日はジャパン・マンモグラフィーズサンデーです。市民病院では、ピンクリボン運動に賛同し、乳がん検診の普及に努めます。
※今年度より、市発行の無料クーポン券が使用できます。詳しくは、広報へきなん9月1日号に掲載します。

碧南の歴史へのいざない

問合せ
文化財課内市史資料
調査室 ☎(41)4566

No.62 鷲塚城主水野忠重(5)

水野忠重の兄・信元は織田信長に協力し、桶狭間合戦のあと信長と家康の同盟を仲介しています。家康と信元と信長は三者が対等な立場での軍事同盟を結びました。

信長は足利義昭を利用し、京都へ上ると信長に逆らう勢力を次々と破っていきました。信長の兵力が圧倒的なものとなるに従い、家康、信元は信長の家臣のような地位へと追いやられてしまいました。

信長にとって甲斐の武田氏は強敵でした。このような時、信長の武将・佐久間信盛が、武田方と水野信元は内通しているとつげぐちをしました(『松平記巻6』)。水野領内の者が武田方の岩村城の兵に食料を渡したというものでした。信長を恐れた信元は、岡崎へ逃れ家康を頼りましたが、岡崎大樹寺で家康の家臣に討たれてしまいました。家康は信元を討たねば、自分が疑われることを知っていたといわれています。そのため水野家は、一時的ですが断絶となりました。

信長は、佐久間信盛には大阪石山本願寺攻めを命じていましたが、何年も落城させることができませんでした。怒った信長は成果をあげることのない信盛に対し頭を丸め高野山に入ることを命じました。同じ時期の羽柴秀吉、明智光秀、柴田勝家らの活躍は目ざましいものでした。

信長は、信盛に与えていた水野領と刈谷城を、家康に仕えている水野忠重に与えることにしました。忠重は、鷲塚城主から刈谷城主へとなったのです。



△水野忠重
(広島県福山市賢忠寺蔵)